

# 茨戸川

発行  
石狩翔陽高校  
生徒会執行部  
2025年5月26日  
第3号

## 翔陽だからこそ



- ① 石澤翔太・札幌大学地域共創学群 日本語・日本文化専攻
- ② 勉強と部活動の文武両道
- ③ 自分の時間を作りすぎて、友達と遊ぶ時間が少なかった気がします。もっと友達との時間をつくれたらよかったなと思います。
- ④ 教師になるために大学に入ろうと決めたので、成績は高く維持しながら足りない教科の勉強に励んでいました。
- ⑤ 数学が好きで、一時期数学科教諭になろうかなとも・・・答えが分かった時と応用問題に挑戦したいと思う瞬間が好きだし楽しい!!
- ⑥ HRクラスがない分、友達作りが最初は大変でした。ただ、生徒主体で様々な活動が出来るところは最高!
- ⑦ 教師になって、生徒一人一人に寄り添いながら社会に自信を持って出していけるよう背中を押し続けることです。
- ⑧ 今ある学校生活は必ず終わりが来

【質問内容】①名前・大学・学部・学科②高校時代に一番頑張ったこと③高校時代に「やっておけば良かった」と思うこと④大学に入学するために努力したこと⑤好きな教科⑥大学生活はどのような感じですか⑦夢は何ですか⑧後輩に向けて一言

ます。この瞬間にやるべきこと、やりたいことを思う存分、楽しんで、やってみてください。

①加藤陽真・札幌大学地域共創学群歴史文化専攻

②吹奏楽部の活動です。中学校の時に楽器が変わりモチベーションが上がり切りました。が最後までやり切りました。

③「学校の外の景色を見る」学校の中にいるとどうしても狭い世界で生きがちですが、積極的に校外に出て見聞を広げられれば、もっと選択肢が広がったと思ってます。

④成績を上げる事はもちろん、文章力をつけることに注力しました。

⑤社会科(特に歴史)です。先人たちの成功、失敗を知る面白さがあります。

⑥とにかく自由かつ自己責任。(自分を律する力が必要です。)



⑦教員になることです。(教育実習を全力で頑張っています。)

⑧一度しかない高校生活、たくさん頼り、頼られ、ぶつかって全力で駆け抜けてください。

①阿部悠哉・札幌学院大学人文学部人間科学科

②学校祭の実行委員を特に頑張ったと思います。副委員長をやっていたのでみんなの意見を取り入れるのが難しかったので覚えてます。

③もう少し勉強をして資格を取っておきたかったです。

④指定校だったので、基本の勉強を頑張ること、大学に入るまでその大学について調べておくことです。

⑤社会科です。知れば知るほど時代の背景などがわかりやすくなるからです。

⑥基本授業に出るも出ないも自分の意志になるので甘えてしまう生徒が多いので、それに流されず勉強するのが大変だと思います。

⑦教員になることと、オーロラを見てみたいです。

⑧少しでもいいから勉強をしておくことです。毎日遊んでもいいけど帰った15分予習するとかをしたほうがいいと思います。



①飯野楓稀・北翔大学生涯スポーツ学部スポーツ教育学科

②部活動です。部活動では、副部长として周囲の意見を聞きながら行動することの大切さや、チーム全体を見て動く力が身につきました。こうした経験は、大学でのグループ活動や、リーダーシップが求められる場面でも役立っています。

③総合学科の特色をもっと活かして、様々なことに挑戦することです。資格取得や興味のある分野の学習に積極的に取り組めば良かったと感じています。今振り返ると、当時の環境をもっと活かすことで、自分の可能性をさらに広げられたのではないかと思います。

④面接練習です。私は担任の先生だけでなく、様々な先生方と何度も練習を重ねました。時には校長先生にもご協力いただき、実際の面接に近い形で練習することで、緊張感に慣れることができました。こうした積み重ねのおかげで、本番では落ち着いて自分の考えを伝えることができたと思います。

⑤体育です。体育は、実技を通して達成感や楽しさを感じられるところに魅力を感じています。また、仲間と協力しながら取り組む中で、コミュニケーション能力やチームワークの大切さを感じています。

⑥翔陽は総合学科なので、大学の授業スタイルと少し似ている部分もありますが、大学ではさらに自由になった印象です。大学では講義が90分と長く、集中心を保つのが正直なところ大変です。ですが、その分、自分でスケジュールを管理し、興味のある分野を深く学べるという面白さがあります。自由度が高い分、自己管理や計画性が求められ、その責任感も大学生活の大変さの一つだと感じています。

⑦保健体育の教員になることです。高校の頃からずっと目指してきた職業で、私の好きな保健体育の授業を通して、生徒の成長を支えられる教員になりたいです。あとお金持ち。

⑧高校卒業後の進路は本当にたくさんあります。だからこそ「自分は何になりたいか」「何をしたいのか」をじっくり考えてみてください。そしてその目標から逆算して今やるべきことを考えるのが、残りの高校生活を楽しくするポイントだと思います。応援しています!!

学べるところが他の教科にはない体育の面白さだと思います。種目ごとに新たな発見があり、常に成長を感じられる点も体育が好きな理由の一つです。

⑧翔陽は総合学科なので、大学の授業スタイルと少し似ている部分もありますが、大学ではさらに自由になった印象です。大学では講義が90分と長く、集中心を保つのが正直なところ大変です。ですが、その分、自分でスケジュールを管理し、興味のある分野を深く学べるという面白さがあります。自由度が高い分、自己管理や計画性が求められ、その責任感も大学生活の大変さの一つだと感じています。

⑦保健体育の教員になることです。高校の頃からずっと目指してきた職業で、私の好きな保健体育の授業を通して、生徒の成長を支えられる教員になりたいです。あとお金持ち。

⑧高校卒業後の進路は本当にたくさんあります。だからこそ「自分は何になりたいか」「何をしたいのか」をじっくり考えてみてください。そしてその目標から逆算して今やるべきことを考えるのが、残りの高校生活を楽しくするポイントだと思います。応援しています!!

